



審査委員特別賞

講評： 築21年の、もとは4LDKのマンションを、全体を3つのゾーンに分けて、ひとつながりの空間にした例である。家事作業をしても家中が見渡せ、家族が一体となって生活できる空間である。まだ幼稚園の娘さんたちが大きくなったら間仕切を設置することは可能で、そのための準備もされている。子供の成長後に間仕切工事をした結果、もとの4LDKに近い状態に戻ってしまう可能性はあるものの、幼時をこのような素晴らしい空間で過ごせたことは、この家族にとって大きな満足を残すであろう。

この家を□問すると、まず玄関ドアのすぐ内側に給湯リモコンと分電盤を配したアイディアに驚かされ、玄関はそのままご主人の書斎と一体の空間になっており、トイレには本棚とコルク掲示板があり、等々、細部の工夫を列挙していけば限りない。

ざっと見回すと、全般にモノが溢れていて、デザイン要素もいろいろ混在しており、正直なところごちゃごちゃしたイメージが拭えない。しかし細部の工夫を仔細に見て行くと、まさに施主の要求が徹底的に実現された設計であることが分かってくる。他人が見てカッコいいというのではなく、あくまでこの住宅に住む人の使い勝手を100%重視した設計なのである。

しかもその内容は、設計・施工上の常識からは首を捻るような内容ばかりである。バスユニットには何と室内に向かって窓を明け、システムキッチンの天板を大胆にカットし、壁厚の余っている箇所は徹底して収納に使い、意外な場所に物が掛かる工夫、等々。

収納について言えば、全般にオープン形式かロールスクリーンで隠すだけで、モノが丸見えなのが、ごちゃごちゃした印象の原因である。だが、台所の収納もオープンならば子供が手伝う場合もどこに何が有るか一目瞭然で、いつも見えていればデッドストックが発生す

る事が無い。出しっ放しに近い状態はたしかに散らかるが、ある程度以上は散らからないもんです、などと説明されれば納得する。蒲団も出しっ放し状態だが、子供が自分で蒲団の上げ下ろしをする習慣が付くと説明されれば、これにも妙に納得できてしまう。

この住宅の場合、施主の生活イメージと要求はあくまで明確であり、施主自身も執念とも言うべき情熱を持って、じっくり時間をかけて理想のマイホーム作りに臨んでいる。またその要求に合ったインテリアを、常識に邪魔されることなくさまざまな工夫・提案をもって実現せしめるに至った設計者の能力、さらにそれを可能とした企業の前向きな姿勢は、大いに評価されるべきであろう。



リフォーム前後の写真



リフォーム前

くつろぐところ



④ リビングとダイニングを一体化し、家族の笑顔が見える空間に。



⑤ 天井の梁をいかして間接照明で光を立体的に工夫。



⑧ リビングを通して夕日が見えるバスルーム

学ぶところ



① 書斎と一体化している玄関ホール



② 本棚を造りつけトイレを書斎に。

学ぶ・寝るところ



③ 児童館をイメージした皆で学べる場。隣接してトイレ。右隣の部屋は、夜だけ家族の寝室に。



⑥ 男性2人が作業できるスペースを確保したオープンキッチン。



⑦ 船のキャビンで使われている照明。ネコ脚の洗面コーナー。



⑨ タイルカウンターのユーティリティ

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など

《リフォームの動機》

どこに居ても家族全員の様子がわかる空間で、昔の日本家屋の「風通しの良さ」をマンションライフで実現したい。

《設計・施工の工夫点》

個々に部屋を用意するのではなく、衣食住を家族一緒に楽しめるようゾーニングした。「くつろぐ」「学ぶ」「寝る」といった3つの空間を、家族全員が効率的に動けるように設計した。また将来の分割プランも作り、各所に下地を入れた。玄関ドアを開けるとすぐに書斎、さらに左手奥のリビングには2つの洗面

ボウルが並ぶ洗面コーナー、その隣にはリビングとの間仕切りをガラス窓にしたバスルームとユーティリティなど、お客様の夢とプランナーのアイデアが散りばめられたリフォームが実現した。また、家族の生活シーンを思い描き、実際の使い勝手を考えてスイッチの位置を低くし、帰宅してすぐお風呂がわかせるようにリモコンは玄関脇にするといった工夫も。インテリアや照明器具、水栓金具など、ディテールも吟味して奥様の好みに合わせコーディネートした。

特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他（ ）

データ

所在地	埼玉県和光市	構造 / 築後年数	鉄筋コンクリート 造 / 21 年
該当工事面積	83 m ²	該当部分工事費	1,600 万円
居住者構成	4 人 (大人 15歳以上 2 人 子供 2 人) ペット		
設計者	(株)ライオンズファミリー	担当者	大平 日呂見
施工者	同上	担当者	

リフォーム前

リフォーム後

